

取組事例 『全部ある当麻町』 地域資源のオール活用による担い手創出、子育て・暮らし環境充実、新たな人の流れの創造！！ (当麻町)

当麻町では、無いものねだりではなく、既存の地域資源の再発見、アイデアによる磨きあげと再発信により、産業の担い手創出、子育て・暮らしの充実、魅力ある交流施設や特産品等を通じたファン獲得など、『全部ある当麻町』として“理想の地方暮らし”を提供!!

関連数値目標・KPI

	基準値 (H26)	実績 (H30)	目標値 (R元)	進捗率 (%)
移住・定住世帯増 (5年延べ)	—	53件	50件	106%
新たな交流人口の拡大(人)※	—	28,770人	10,000人	255%

※木遊館、くるみなの庭での交流イベントの入り込み数

取組事例

地場産業の担い手創出

【主な取組】

○町産材活用による林業経営の強化

・公共施設への町産材使用ほか、一戸建て新築補助を実施 (木材代:最大250万円)

○起業サポート

・新規事業者に対し、店舗新築、増改築・設備費用を補助 (最大400万円)

【効果】

取組を通じて、担い手となる林業従事者、木工製造業者、新規店舗が多数創出

子育て・暮らし環境の充実

【主な取組】

○手厚い子育て支援

・小中学生の医療・修学旅行無料化、高校生就学支援 (高校3年間で15万円)

○食育・木育・花育を通じ、命の大切さ、故郷を愛する心を育む『心育』

- ・「田んぼの学校」による田植え・稲刈り等の体験を通じ、食の大切さを学ぶ“食育”(収穫米は給食米へ)
- ・「くるみなの木遊館・散歩道」による木製遊具、木工体験、森林浴等を通じ、木の温もりや力強さを感じる“木育”
- ・「くるみなの庭・散歩道」に咲く100種類以上の花を通じ、五感で自然を感じ、命の尊さを学ぶ“花育”



【効果】

子育て世代の定住化、『心育』の環境提供による年少者の地元愛醸成 (将来のUターン促進) を実現

交流施設・特産品を通じた交流・関係人口の拡大

【主な取組】

○交流施設を通じた体験イベント開催

・木遊館「木工体験」、くるみなの庭「くるみなの日」、「サンデーマーケット」などイベントを多数開催

○特産品によるファン獲得

・でんすけすいか (日本農業大賞受賞)
・今摺米 (7年連続北海道一美味しいお米に選出)
・日本酒「龍乃泉」(当麻鐘乳洞で熟成) ほか



【効果】

魅力ある交流イベント開催、特産品PRにより交流・関係人口拡大、ふるさと納税増を達成

取組の推進体制

林業担い手、林業生産額増、町産木材活用等による推進体制

- 当麻町50年循環型林業サイクル構築推進協議会
当麻町、当麻町森林組合、当麻町農業協同組合で構成
- 当麻町魅力発信推進会議
当麻町、当麻町森林組合で構成

新規就農支援、農業担い手支援による推進体制

- 当麻町農林業合同事務所
当麻町、農業委員会、土地改良区、森林組合、農業協同組合、その他民間機関で構成

担い手、林業生産額、新規開業者等の状況

H27からH30推移で以下を達成

- 林業雇用者数→延べ21人増
- 木工製造業従事者数→延べ19人増
- 林業生産額→46,588千円増 (H30実績値756,588千円)
- 店舗の新築・改築件数→延べ8件
- 地域の木材を活用した住宅整備件数→延べ53件
- ふるさと納税額の増→延べ83,011千円の増

【社会増減】

平成28年	転入171人	転出212人	合計-41人
平成29年	転入181人	転出179人	合計+2人
平成30年	転入220人	転出194人	合計+26人

着実な地場の産業振興を達成、転入超過に繋がっている!!